

令和 3 年度徳島県地震・津波県民意識調査結果について

1 調査概要

- 調査対象 20歳以上の県民5,000名（市町村の人口に応じて人数を分配）
- 調査方法 郵送調査（回答はネット併用：郵送81.1%、ネット18.9%）
- 調査期間 令和3年11月下旬～12月中旬
- 有効回答率 40.6%（2,032人）

2 主な調査結果 ※（ ）内は前回（H30年度）の調査結果**(1) 地震への関心**

- ・南海トラフ巨大地震に関心がある 97.2%（97.5%）
- ・中央構造線・活断層地震に関心がある 90.9%（90.0%）
- ・事前復興について知っている、聞いたことがある 45.5%（38.0%）
- ・南海トラフ地震臨時情報について知っている、聞いたことがある 54.1%（60.5%）

(2) 災害情報の認知

- ・ハザードマップを見たことがある 84.5%（74.9%）
- ・平常時の防災情報の入手先（複数回答）
 - ①テレビ 91.0% ②新聞 55.1% ③インターネット 48.4%
 - ①テレビ 92.2% ②新聞 59.3% ③インターネット 38.2%
- ・最寄りの避難所を知っている 92.3%（88.2%）

(3) 地震に対する備え**(自助)**

- ・耐震診断を受けた、受ける予定（木造旧耐震） 22.3%（25.5%）
- ・家具を固定している 50.0%（54.4%）
- ・ブロック塀等の安全点検を実施し、対策している、対策予定 14.7%（新規）
- ・食糧を備蓄している 69.8%（70.6%）
- ・災害用トイレを備蓄している 24.4%（16.4%）

(共助)

- ・自主防災組織の活動は、活発である
ある程度活発である 51.4%（61.5%）
- ・防災訓練に参加している 44.6%（47.5%）

(4) コロナ禍の避難対策

- ・分散避難について知っている、聞いたことがある 50.4%（新規）
- ・コロナ禍における避難候補先（複数回答）
 - ①避難所 59.0% ②車中泊 45.8% ③親戚・友人宅等 27.4%（新規）

3 今後の予定

- ・令和4年6月「徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会」において、調査結果を「とくしまゼロ作戦行動計画」等に反映